

12.18

日

★プロステージ 開演 17:00

## ■大坂昌彦スペシャルスタンダード6

## 大坂 昌彦 (Drums)

1986年奨学金を獲得し、パークリー音楽大学に留学。在学中にデルフィーヨ・マルサリスのバンドに在籍し全米各地のジャズフェスに出演。NYでの活動後、1990年に帰国。大坂昌彦・原朋直クインテットを結成。アルバム6枚のうち2枚がスイングジャーナル誌でゴールドディスクに選定される。2008年に7年ぶりとなるリーダーアルバム「Homage」を、2010年には7枚目となる「Funky 7」をリリース。現在はthe MOST、EQ、Scene of Jazz、サムライ・ビバップ・トリオ等のレギュラーグループで精力的に活動しており、スイングジャーナル誌読者投票ドラム部門では1995年より16年間一位に選出され続けた。洗足学園音楽大学非常勤講師。

## 岡崎 好朗 (Trumpet)

12歳からトランペットを始める。17歳からジャズを演奏し始め、五十嵐一生、村田浩に師事する。奨学金を得て、1991年にボストンにあるBerklee College of Musicに留学。在学中はボストンを中心に様々なジャンルの演奏活動をし、1994年同校を卒業し帰国。帰国後は、中村誠一、多田誠司、大西順子、小林陽一、日野元彦等のバンドで活躍。2005年5月よりNYに拠点を移し、同年12月にアーティストビザ取得。約3年間活動の後2008年9月NYから東京に拠点を戻し、ライブ、コンサート、レコーディングなどで活躍中。

## 多田 誠司 (Asax)

岡山大学入学と同時にJAZZ研究会に入部。1990年に村田浩&The BOP BANDに参加、CD「The Blues Walk」にて一躍脚光を浴びる。1997年6月、初リーダー作「THE GIG」を発売。SWING JOURNAL誌主催、97年度「日本ジャズ賞」部門で第三位に入るなど、各方面から絶賛される。また世界的トランペッター日野皓正に認められ、99年9月から彼のグループにレギュラーメンバーとして参加。2000年、「the MOST」を結成。2010年8月、the MOST結成10周年記念としてアルバム「Luminescence」をリリース。現在、「the MOST」「Z's」等のレギュラーを務める一方、セッションでも活躍中。

## 小池 修 (Tsax)

10才からサクスを始める。1977上京後松本英彦氏に師事。ジャズ理論アレンジ法を独学で学ぶ。主な参加グループとしては、自己のグループの他、SOLID BRASS、守屋純子オーケストラ&セクステット、山下洋輔オーケストラ、渡辺貞夫オーケストラ&セクステット、熱帯JAZZ楽団などで活動。また、数多くの来日ミュージシャン(スティーブ・ガッド、リチャード・ティ、スタイリスティックス)、等とも共演。1999年より現在まで自己のアルバム6枚シングル1枚を発表。2003年から納浩一、大坂昌彦、青柳誠と双頭バンド「EQ」を立ち上げアルバム6枚をリリース。最新作は「NOW & THEN」

## 片倉真由子 (Piano)

幼少よりクラシックピアノを始める。洗足学園短期大学入学後、ジャズピアノに転向、ピアノを今泉正明氏に師事。同大学を首席で卒業後、2002年、パークリー音楽大学より奨学金を受け入学。同校卒業後、ジュリアード音楽院入学。ピアノをケニーバロンに、アンサンブルをカールアレン、ベンウォルフに師事。2006年、Mary Lou Williams Women In Jazz Piano Competitionで優勝。現在は自己のトリオをはじめ、大坂昌彦グループ、伊藤君子グループ、竹内直カルテット、the MOSTなどのメンバーとして活動中。2009年9月には、リーダーアルバム「インスピレーション」をリリース。第43回スイングジャーナル社主催の「ジャズディスク大賞」において、ニュースター賞を受賞。2010年10月、セカンドアルバム「フェイス」をリリース。

## 納 浩一 (Bass)

京都大学卒業後、パークリー音楽大学に留学。85・86年度のパークリー・エディ・ゴメス・アワード受賞。96年以降、渡辺貞夫グループなどのレギュラー・ベーシストとして、全国ライブハウスや、モントルージャズフェスティバルを初めとする、海外ジャズフェスティバルに多数出演。洗足学園大学では音楽科ジャズコースのベース講師を務め、後進の指導にも積極的に当たっている。'06年1月、最新リーダー作「琴線 / The Chord」をリリース。また4本の教則DVDや自身の編集によるスタンダード本「ジャズスタンダード・バイブル」も好評を博している。

1.21

日

★アマチュアステージ

開演 10:30

## ■Fujitsu Jazz Allstars (ビックバンド)

Fujitsu Jazz Allstarsは、富士通沼津吹奏楽団のメンバーで構成されたビックバンドで、1987年に結成、レパートリーはスタンダードジャズからラテン、ポップス、演歌までとジャンルは幅広く、今年で24年目となる。富士山時代劇場ジャズフェスには1回目よりフル出場、スタイリッシュという言葉が良く似合うバンドであり演奏も期待される。

## ■志村孝雄とスーパーバンド

市内在住のジャズプレイヤー志村孝雄さんは日本を代表するデキシーバンド、有馬靖彦とデキシージャイブにも在籍し演奏活動をしながらかデキシーランドジャズを深く追求、現在も幅広い活動を行っている一人。このステージには初回よりフル出場、毎年何かをやってくれる志村さん。今回は管楽器3本にピアノ、ベース、ドラムと6人編成。勿論リーダーとして出演。

## ■原宏志とフライングバース

原宏志さんは、言うまでも無く地元伊豆の国市を中心に広く県東部で活動するフライングバースのバンドリーダーでサクスを担当する。バンド活動としては12年になるが、現在の固定メンバー(カルテット)になり7年となる。また、メンバーひとり一人の音楽に対する情熱が非常に厚く、その音楽性ゆえにアマチュアでありながらファンが多い。

## ■RIKI BAND (ビックバンド)

県東部の定番「RIKI BAND」は20人編成の社会人スイングオーケストラ。スイングジャズをメインに豪華で迫力のあるサウンドが売り物のビックバンド。結成以来、現在の音楽環境において中年層から上の音楽ファンが楽しめる場が少ないこともあり、コンサート会場には何時も中高年層の方が多く足を運んでいる。勿論、時代劇場でも定番である!

## ■平田義一カルテット

リーダーの平田さんは、中学生時代からクラリネットを始め、大学時代にジャズと出会い今日まで様々なスタイルで活動し、アマチュアで有りながらプロとの共演も数多い。現在、三島フィルオーケストラ、ビックウェーブ(ビックバンド)のコンサートマスターも勤めている。今回はクラリネット、ピアノ、ベース、ドラムによるカルテットの演奏が楽しみである。

## ■日本大学国際関係学部ジャズ&amp;フュージョン研究部

三島市にある日本大学国際関係学部『ジャズ&フュージョン研究部』通称JAF。授業が終わると毎日練習に力を注ぐ全国から集まった学生達。4回目の参加となり過去にはジャズピアニストの佐山雅弘さんとセッションを果たすなど、その若さと実力を発揮。若者らしいジャズに期待。

## ■ケルンバンド+野田としこ

ボーカルの野田さんは、戦後日本のジャズ文化を築いた一人で、心に響く歌声は、米軍キャンプに長く出演した実績の持ち主。キャンプでは「トシコノダ」と言えば知らない兵士はいなかった。病氣療養のため伊豆の国市内の病院でリハビリを続け、現在沼津市内でライブハウス「サティ」のオーナーとしてジャズを歌えるほどに復帰。あえてアマチュアとして参加。

## ■沼津燦々ジャズオーケストラ (ビックバンド)

2002年に沼津市が開講した「ビックバンド養成講座」から生まれた市民ジャズバンド。バンド名の燦々は、練習日である日曜日の「SUNDAY」と沼津市のPRフレーズ「燦々ぬまつ」から名づけられました。多くのアマチュアバンドと同様に、職業、年齢、ジャズとの関わり方もさまざまなメンバーが集まりジャズを楽しんでいます。

## ■清水・静岡ジュニアジャズオーケストラ (ビックバンド)

結成12年目の中学生・高校生のビックバンドです。指導者でもある代表の高崎さんのもと、東京のチューデントフェスティバルなどに多くのコンサートやコンクールに参加。その活動には第20回静岡県地域文化活動奨励賞を受賞するほどで、演奏は大人顔負けである。浜松ジャズウィークや国民文化祭などに出演し忙しく活動。静岡県を代表するチューデントビックバンドである。